

ビジネスアイディアの概要

★顧客候補：鉱山廃水処理を行う会社・自治体

- ・ 廃水処理は大量のCO₂排出源とみなされている
- ・ 処理コストはすでに高額なのに、将来はCO₂にプライシングされるリスクがある

解決策は右下「ビジネスアイデア概要図」を参照

★社会課題①：鉱山廃水処理への補助金

- ・ 国内で年間20億円以上の補助金が投入
- ・ “汚い水”を“普通の水”にするだけ (大切だけど…利益なし)

★社会課題②：脱炭素に伴う国富の流出

- ・ 除去系クレジットの国内供給が極めて少ないので国外から購入する日本企業が存在する

事業者情報

FR： 佐藤 遼弥 (Sato Ryoya)

北海道大学・工学院・環境循環システム専攻・
資源循環材料学研究室
修士2年

LinkedIn



メンバー： 中村 風五 (Nakamura Fugo)

同専攻・同研究室
博士1年

メンバー：

武田 理熙 (Takeda Masaki)

同専攻・環境リスク評価学研究室
修士2年

ビジネスアイディアを事業化するための課題

★技術・研究開発

- ・ 過酷な環境で動作する「置くだけ測定装置」
- ・ CO₂除去量を計算する「海洋・河川モデル」
- ・ 装置とモデルをリンクさせる「通信技術」

★事業開発

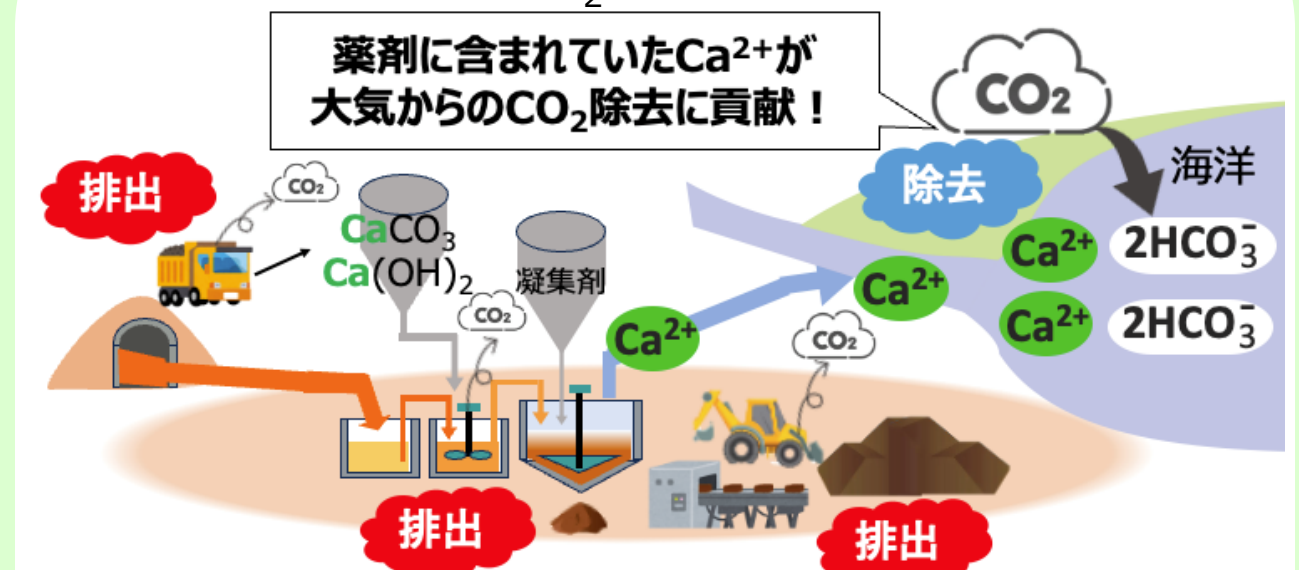
- ・ 情熱を共にする仲間探し！！！！
- ・ 廃水処理施設への機器導入に伴う法的リスクの整理
- ・ 大企業への信頼醸成や営業活動

事業化の見通し

- Step1：開発予定の測定装置・計算モデルを販売し、早期収益化&実績データを蓄積
Step2：蓄積データをもとに国際認証を取得、クレジット創出・販売へ事業を拡張
Step3：国内100箇所以上の鉱山廃水へ展開、応用領域を拡大
Step4：国内実績を携えて海外鉱山市場へ参入

ビジネスアイデア概要図等

廃水処理は確かにCO₂を排出している
一方で排出を上回るCO₂が海洋で吸収除去されている



廃水処理場 = CO₂除去工場

測定装置・計算モデル→顧客候補へ販売
カーボンクレジットも創出できるかも！？